

平和の尊さを 心に刻む

舞鶴市は、昭和20年10月7日に舞鶴港へ最初の引揚船が入港して以来、13年間にわたって海外からの引揚者約66万人を迎え入れました。引き揚げやシベリア抑留の史実、そして引揚者を温かく迎え入れたまちの記憶を

次世代へ継承するため、10月7日を「舞鶴引き揚げの日」と定め、平和祈念式典をはじめとするさまざまな取り組みを行います。

《引揚記念館》

平和祈念式典

日時 10月10日(土) 14時から

場所 引揚記念公園



〔式典〕

・黙とう(時鐘の点打) ・平和のメッセージ
・献茶・献花

〔食の体験イベント〕(なくなり次第終了)

13時からふかし芋の振る舞い、
13時30分から呈茶を行います。

〔映像上映会〕

10時から引揚記念館内で、昨年度上演した市民音楽劇「海のその先」の映像を上映します。

企画展「抑留三年の記録」

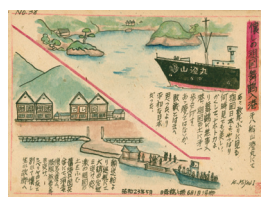
日時 10月31日(土)～

来月1月17日(日)

9時～17時(最終入館は16時30分)

場所 引揚記念館

シベリア抑留体験者である宮地建三氏が描いた抑留体験記録画など、47点を展示。抑留中の労働をはじめ、現地の女性たちの様子など収容所の暮らしが描かれています。



学生語り部による ウズベキスタン・キルギス訪問報告会

日時 10月10日(土) 15時15分から 場所 引揚記念館

8月1日～7日に、次世代による平和交流事業として学生語り部6人がウズベキスタン共和国とキルギス共和国を訪問。戦後、日本人の抑留地であった両国において、同世代との交流を通じて国境を越えた平和の尊さを共有しました。現地での体験や訪問で感じたことについて、学生語り部が発表します。



日本人抑留者資料館



ナボイ劇場



タムガ村の療養所
(サナトリウム)



アクルマン大統領府学校



ヤッカサライ日本人墓地

【問い合わせ先】引揚記念館(☎68・0836)

100 全国ランニング大会 100 撰
TOP 100 ROAD IN JAPAN

MAIZURU AKARENGA HALF MARATHON 2026

舞鶴赤れんが
ハーフマラソン

日本陸上競技連盟公認大会
RUN as ONE-Tokyo Marathon2027 (一般) 提携大会

10.12 月 祝 AM 9:30 START

大会概要

赤れんがパーク周辺を発着点に「舞鶴赤れんがハーフマラソン2026」を開催。海上自衛隊航空基地や自衛隊北吸棧橋、カナデビア株式会社、ジャパン マリンユナイテッド株式会社の敷地内など、普段は立ち入れない特別なコースを、約3,300人のランナーが駆け抜けます。

今年は千葉真子さんに加え、ゲストサポーターにまいづる親善大使の井上愛里沙さん、舞鶴市とウズベキスタン共和国リシタン地区との姉妹都市提携を記念して、同国からイモリエワ・アロファット選手もお迎えします。皆さんで応援しましょう!

① スタート時刻 ハーフの部 9時30分
2kmの部 9時47分(中学生以下)
9時50分(高校生以上)



ランナーがどこを走っているのかをリアルタイムで確認できます。右コードからアクセス可。



#MAIZURU 千葉ちゃん走ろう!

BEST SMILEランニング
前日は! & トークライブ in 舞鶴

千葉さんによるトークライブを開催。長距離を走るコツや大会前日の準備などプロに直接聞ける貴重なチャンスです。気軽に参加してください。

※ランニングイベントは定員に達しました

日時 10月11日(日)13時30分～15時
(受け付けは13時から、トークライブは14時まで)

場所 総合文化会館

詳細は、大会ホームページで。
右コードからアクセス可。



交通規制にご協力を

コース付近を通る場合は、警察官や誘導員の指示に従ってください。安全なレース運営のためご協力をお願いします。

応援は 公共交通機関で

会場周辺の駐車場は選手専用です。応援や観戦で来場する際は、公共交通機関を利用するか、最寄りの有料駐車場などを利用してください。

—— 問い合わせ先 ——

実行委員会事務局
(スポーツ振興課内、☎66・1058)

